

社会資本総合整備計画(第7回変更)

徳山駅を中心とした持続可能な集約型都市の形成

平成30年11月

山口県 周南市

社会資本総合整備計画

平成30年11月21日

計画の名称	徳山駅を中心とした持続可能な集約型都市の形成							重点配分対象の該当				
計画の期間	平成27年度～平成32年度(6年間)			交付対象	周南市							
計画の目標	レクリエーションおよび交通拠点である「徳山港周辺」、交通結節点および商業の拠点である「徳山駅周辺」、行政拠点である「市役所周辺」、文化拠点である「徳山公園周辺」までの区間を周南市の都心軸として設定し、各拠点の強化と拠点間の連携効果の発揮により、中心市街地の活性化、広域的な拠点機能の向上、都市としての魅力の回復と向上を図る。また、都市機能を中心市街地内で更新していくことで都市機能と拠点性を維持する。											
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地内5地点の10時から19時までの歩行者等通行量を10,826人(H26)から12,000人(H32)に増加させる。 賑わい交流施設内の会議室、市民交流センターの年間利用者数を15,905(H25)から17,500(H32)に増加させる。 市全体の人口に対する中心市街地内の人口割合を3.90%(H26)から4.00%(H32)に増加させる。 徳山動物園の年間利用者数を288,320人(H26)から370,000人(H32)に増加させる。 本事業に関連した新規女性就業者数を7人(H29)から60人(H32)に増加させる。 中心商店街等の新規出店数を116店舗(H29)から185店舗(H32)に増加させる。 											
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値	備考			
							当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H32末)			
中心市街地内の歩行者等通行量	中心市街地内の5地点における10時～19時の間の歩行者等の通行量							10,826 (H26)	11,500	12,000		
賑わい交流施設利用者数	賑わい交流施設内の会議室、市民交流センターの年間の利用者数							15,905 (H25)	16,800	17,500		
中心市街地の人口割合	市全体人口に対する中心市街地の人口割合							3.90 (H26)	3.95	4.00		
動物園入園者数	動物園の年間利用者数							288,320 (H26)	320,000	370,000		
新規女性就業者数	本事業に関連した新規女性就業者数(累計)							7 (H29)	7 (H29)	60		
新規出店数	中心商店街等の新規出店数(累計)							116 (H29)	116 (H29)	185		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	9,493 百万円	A	8,226 百万円	B	0 百万円	C	1,267 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	13.3%

交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31	H32				
A-1	都市再生	一般	周南市	直接	周南市	周南市中心拠点再生地区	賑わい交流施設整備等	周南市							6,900	-		
A-2	街路	一般	周南市	直接	周南市	(都) 徳山停車場線(徳山駅北口駅前広場)	広場面積 A=5,973㎡	周南市							269	-		
A-3	街路	一般	周南市	直接	周南市	(都) 海岸通線(徳山駅南口駅前広場)	広場面積 A=3,468㎡	周南市							52	-		
A-4	公園	一般	周南市	直接	周南市	都市公園事業(徳山公園)	A=8.1ha	周南市							1,005	-		
合計											8,226							
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31	H32				
合計											0							

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31	H32		
C-1	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	徳山駅北口駅前広場	広場面積 A=1,827㎡	周南市							77	
C-2	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	徳山駅南口駅前広場	広場面積 A=332㎡	周南市							2	
C-3	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	徳山駅西側駐車場・駐輪場整備事業	駐車場および駐輪場整備	周南市							90	
C-4	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	現徳山駅ビル解体事業	駅ビルの解体	周南市							250	
C-5	調査・設計	一般	周南市	直接	周南市	歩車共存道路化検討事業	銀座通・新町通での社会実験等	周南市							60	
C-6	補助	一般	周南市	間接	(株)まちあい徳山等	まちなかアメニティ推進事業	休憩施設、公衆トイレ、授乳室、バリアフリー設備等	周南市							20	
C-7	調査・設計	一般	周南市	直接	周南市	まちづくり交通実態調査等事業	交通量調査、将来交通体系予測等	周南市							25	
C-8	調査・実験	一般	周南市	直接	周南市	Zooと周南推進事業	ICTZOO事業、足跡プロジェクト、ストリートファーンニチャー等	周南市							90	
C-9	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	Zoo夢UP21ハード事業	動物解説看板、サイン等	周南市							2	
C-10	調査・実験	一般	周南市	直接	周南市	Zoo夢UP21ソフト事業	教育プログラム(実証実験・社会実験)、ワークショップ等	周南市							20	
C-11	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	コンビナート電力活用事業	電力設備工事(電気設備・管路・ハンドホール及びケーブル敷設)、電力利活用検討業務等	周南市							600	
C-12	調査・設計	一般	周南市	直接	周南市	市街地循環線導入検討事業	中心市街地循環線の社会実験等	周南市							3	
C-13	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	案内標識設置事業	案内標識設置事業	周南市							8	
C-14	調査・設計	一般	周南市	直接	周南市	都心軸空間デザイン事業	駐車場適正化、低未利用地利活用検討等	周南市							20	
合計											1,267					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	(都)徳山停車場線(徳山駅北口駅前広場)(A-2)と一体的に広場を整備することで、交通結節点機能が強化され、利用者の安全性・利便性が向上する。	
C-2	(都)海岸通線(徳山駅南口駅前広場)(A-3)と一体的に広場を整備することで、交通結節点機能が強化され、利用者の安全性・利便性が向上する。	
C-3	既存の北口駅前広場内の駐車場の代替施設を、(都)徳山停車場線(徳山駅北口駅前広場)(A-2)と一体的に広場外に整備することで、北口駅前広場には歩行者が安心安全に通行できる十分な空間を確保することが出来る。また、駐車場、駐輪場の安全性、利便性を向上させることで、公共交通機関の利用促進につながり、交通結節点として機能が向上する。	
C-4	周南市中心拠点再生地区(A-1)の賑わい交流施設整備に現駅ビルの解体が必要であり、交通結節点機能の強化や安全性の確保、賑わいの創出に必須の事業である。	
C-5	周南市中心拠点再生地区(A-1)と一体的に実施することで、より良い歩行者空間の創出につながり、効果的である。	
C-6	周南市中心拠点再生地区(A-1)と一体的に実施することで、民間事業者によるバリアフリー施設の整備や多目的の公衆トイレ整備等アメニティ施設の整備を促し、歩きやすい空間整備を行うことで回遊性を向上させる。	
C-7	周南市中心拠点再生地区(A-1)と一体的に実施することで、将来交通量予測による円滑な交通網整備や交通量調査による効果測定を行い、まちづくりに役立てる。	
C-8	中心市街地のまちづくりコンセプトである「しゅうなんパークタウン構想」を実現するために、周南市中心拠点再生地区(A-1)と一体的に整備することで、自然と歩きたくなるまち、居心地の良いまちを形成し、回遊性を向上させる。	
C-9	都市公園事業(徳山公園)(A-4)と一体的に実施することで、いつでも来なくなる動物園の魅力の向上と周辺住民の憩いの場としても整備され、訪れやすい動物園として整備することで回遊性を向上させる。	
C-10	都市公園事業(徳山公園)(A-4)と一体的に実施することで、新たな教育プログラムの創出、新たな展示手法の創出及び動物園ボランティアスタッフの育成等により動物園の教育プログラムを強化させ、動物園の魅力が向上し、来園者の増加につながる。	
C-11	周南市中心拠点再生地区(A-1)と一体的に実施することで、新たな民間事業創出の大きなインセンティブとなり、中心市街地の賑わい創出、活性化を図るものである。	
C-12	周南市中心拠点再生地区(A-1)と一体的に実施することで、中心市街地来訪者の利便性や回遊性を向上させるための検証・分析を行い、賑わい交流施設と動物園の拠点間の交流人口を増やし、中心市街地の賑わい創出、活性化を図ることの検証を行うための事業である。	
C-13	周南市中心拠点再生地区(A-1)と一体的に実施することで、来訪者を賑わい交流施設へ分かりやすく誘導し、施設の利便性が向上する。	
C-14	周南市中心拠点再生地区(A-1)と一体的に実施することで、中心市街地の低未利用地の利用促進などの課題に対応する施策や、今後のまちづくりの可能性を有効に活用する施策を包括的に検討し、中心市街地の活性化、都市としての魅力の回復と向上を図る。	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31	H32			
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

交付金の執行状況

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
配分額(a)	490	868	1,729			
計画別流用増△減額(b)	0	90	0			
交付額(c=a+b)	490	958	1,729			
前年度からの繰越額(d)	9	103	570			
支払済額(e)	396	491	1,793			
翌年度繰越額(f)	103	570	506			
うち未契約繰越額(g)	0	0	0			
不用額(h = c+d-e-f)	0	0	0			
未契約繰越＋不用率(h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	-				

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	徳山駅を中心とした持続可能な集約型都市の形成	交付対象	山口県周南市
計画の期間	平成27年度～平成32年度（6年間）		

